

「地域に生きて」 ～親亡き後の支援を考える～

社会福祉法人 あおぞら共生会 理事長
一般社団法人 川崎市自閉症協会 相談役（前代表理事）
NPO 法人 かわさき障がい者権利擁護センター 副理事長（前理事長）
社会福祉法人 ともかわさき 評議員（元理事）

明石 洋子 氏

【無認可小規模作業所「あおぞらハウス」を平成元年に設立してから、グループホーム、サポートセンター、相談支援の事業を設立、現在13事業所を運営】

今回は講師に、当会前代表理事 明石洋子氏をお招きいたします。

明石氏は、障害があっても「地域に共に生きる」を目指し、行動し、理解の輪を拡げてこられました。さらに、障害のある人が親なき後も、どのようにしたら「人として生きる」その権利を守っていけるのか。本人の意思を尊重して、本人の特性を理解して、支援する仕組みをどう作っていくのか。それを考え、グループホーム、サポートセンター、相談支援事業等を設立し実践してこられました。その中で、NPO かわさき障害者権利擁護センターの設立も担われました。

その貴重な実践の経験から、親なき後の支援のあり方をお伺いできる機会を設けました。ぜひご参加いただき、皆様と一緒に考えていけたらと思います。

※『オーティズムカフェ』は会員以外の方もご参加いただけます。お気軽に参加してみてください。

日時：7月8日（火） 10時～12時 （出入り自由）

場所：地域福祉施設 ちどり 1階 第2会議室

住所：川崎市高津区久本 3丁目6-22

最寄り駅：東急田園都市線 溝の口

JR南武線 武蔵溝ノ口 徒歩 約7分

参加費：会員・初回見学 無料 *飲み物などは各自ご持参ください。